

ジュエリー文化史研究会からのお知らせ—389—

2019.10.25

◎特別ハンドリングゼミ感想—飯塚さんから

ご協力いただいた飯塚暁子さんからのメールです。
ご紹介させていただきます。(事務局—深谷)

先日はハンドリングゼミに参加させていただき、
ありがとうございました。
事前のセレクトの時から露木先生や宮坂様には大変お世話になりました。
惜しげなく繰り出される知識をメモすることで必死でした。

御高著を拝読していた先生に直接自分のコレクションを見ていただけるなど
滅多にない貴重な機会ですし、
ただただ好きで集めてきたジュエリーが
ゼミの皆様の研究材料になろうとは夢にも思わず、かなり震えましたが、
皆様に楽しんでいただけてとても幸せな時間を過ごすことができました。

刊行記念講座の際にたまたま持っていたリングを見つけてくださり、
掬いあげてくださった露木先生のおかげと大変感謝しております。
また、前回の講座に誘ってくださった大崎さん、青木さんにも感謝申し上げます。

酒井さんの、女性らしくも渋くて深いセレクトにも大変刺激を受けました。
お若いのにあれだけのぶれない視点があるのはとても羨ましく、
これからの酒井さんのコレクションが楽しみです。

私はデザインの面から日本のジュエリーに興味があり、
実際に身につけることを目的としているため、
合成石や金位の低い金であったとしても、私には宝物のように思えます。
それらが日本の宝飾の歴史や当時の文化を伝えるものですから。

最近、リングをはじめとするレトロな装身具が、若い人の間でも人気になっています。
中古ジュエリー業界の方々が古いジュエリーの価値に気づき、市場に出してくれれば良い
のですが、

そもそもプラチナ+貴石にしか価値を見出さない業者の方が多いと思われま
す。まだまだ筆筒から古いジュエリー・アクセサリが出てくるはずで
す。一つでも多くの装身具たちが救われるよう願っています。

私も皆様のように色々と調べてみたいことがたくさんあるのですが、
今はなかなか時間を取ることができずにおります。
子どもがもう少し大きくなったら、そして私が定年を迎えたら、
思う存分調べてみたいです。

この度は本当にありがとうございました。
急に寒くなりましたので、
露木先生、宮坂様におかれましては暖かくしてお過ごしくださいませ。
私も肩が痛くて、毎日レンジでチンするトウモロコシ袋を載せて温めています。

今後ともどうぞよろしく願いいたします。

ジュエリー文化史研究会
<http://www.j-bunka.jp/>